

実践事例【授業等の実践】

第3学年「おいものひみつ発見！！ 根菜～おいものいろいろ～を知ろう」 (総合的な学習の時間)

1 指導案

第3学年 食育学習指導案

指導者 教諭
栄養教諭

(1) 題材名 おいものひみつ発見

(2) 題材設定の理由

11月のごりょうが丘フェスティバルにおいて、さつまいもの店「おいもやさん」を出店し、成功させることを目標にさつまいもを作ることにした。

子どもたちにとって身近な野菜である「いも」をあつかう。「いも」の秘密を追究することを通して「いも」についての知識を深めるとともに、調理することや「いも」の店を出すことへの意欲の高揚をねらい、本題材を設定した。

(3) 指導計画

さつまいもの苗植えや水やりを行い、作物を育てる大変さや工夫について知り、より身近に感じる。

さつまいもの調理方法や栄養について理解を深める。

(4) 本時の目標

- ・ 様々な種類のいもについて知る。
- ・ いものそれぞれの栄養について知る。
- ・ 特にさつまいもの特徴、栄養について知る。

(5) 展開

児童の活動	指導上の留意点	準備物等
<p>いもについて知ろう じゃがいも・さつまいも・里いも・山いも・長いも・こんにゃくいも等</p> <p>・「いも」とはどんなものだろう。</p> <p>・「いも」の栄養を知る。</p> <p>さつまいもの特徴を詳しく知ろう。 ・さつまいもの栄養</p> <p>本時のわかったことをまとめよう。</p>	<p>・いもが好きか嫌いかを尋ねる。 ・いもの種類をあげさせる。 ・実物を見て特徴に気づかせる。(見た目の特徴・色・形) ・「いも」についての「気づき」や「疑問」を発表させる。 ・根菜のできる場所、できるわけを知ることができたか。(評)</p> <p>・いもにはどんな栄養があるのかを知らせる。</p> <p>・他のいもとは違うさつまいもの特徴に気づけたか。(評)</p> <p>・ワークシートにわかったことをまとめさせる。</p>	<p>写真 実物</p> <p>根菜の絵</p> <p>いもの栄養グラフ</p> <p>ワークシート</p>

(6) 評価の観点

- ・根菜のできる場所、できるわけを知ることができたか。
- ・それぞれのいもの特徴に気づけたか。
- ・他のいもとは違うさつまいもの特徴に気づけたか。

2 授業の様子
(写真)



いものことを質問しています。



さつまいもの実物を見せています。

黒板の板書です。



3 子どもの反応

「今日の授業で分かったおいもの秘密を書きましょう」という言葉で書いたものを抜粋します。

- ・いもにもビタミンCがある。
- ・こんにゃくいもはそのまま調理して食べることはできなくて、こんにゃくにするために作っている。
- ・じゃがいもなどいもの種類にも色々ある。
- ・さつまいもは、根っこにデンプンがたまってさつまいもになる。
- ・エネルギーはさつまいもが一番多く、ビタミンCは、じゃがいもが一番多く、カロチンはさつまいもが一番多く、繊維は山のいもが一番多かった。
- ・さといも、さつまいも、じゃがいもは煮たり焼いたりして食べる。
- ・やまいも、ながいもはなまで食べられる。

4 成果と課題

子どもたちは、いも類、特にさつまいもについての知識を深めながら、さつまいもを調理することへの意欲を高めることができた。

いも類のよさを知識として学んできた。この知識をこれからの自分の食生活に生かすことができる力をつけることが大切である。